

# 福井医療大学 出前講座

通年(2024年4月～2025年3月)

	講義テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	ZOOM対応
1	呼吸と健康	高校	学生 教職員	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授 堀 秀昭	上手な呼吸法について講義し、実際の方法について教えます。また、呼吸の仕組みはどうなっているの？上手な呼吸法を理解しましょう。肺が病気になるとどうなるの？	可
2	加齢と身体認知能力について	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授 藤本 昭	加齢による身体認知能力がバランス能力に与える影響について、また身体認知能力の指標とされる各種検査法について説明します。	可
3	安全でけがのない学校生活を送るには	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 准教授 近藤 仁	成長期に起こりやすい代表的なけがの予兆や発生要因などを説明し、安心して体育および部活動を送るための知識や対応策を紹介します。	可
4	ケガを防止するために行うストレッチング	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授 東 伸英	ケガの発生には、筋肉・関節の疲労や柔軟性の低下、筋力不足などといった様々な要因が関与しており、そのため筋力・柔軟性トレーニングが怪我のケアや予防に重要とされています。そこでストレッチングを中心に自宅で行える運動を紹介いたします。	可
5	対象者の理解を深めるために	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 石田 圭二	人を理解するとき様々な視点・枠組が存在します。大きく分ければ理解をする側の視点・枠組と理解される側のものであり、時にはその理解内容は対立することもあります。医療者は医学的な視点・枠組が求められますが、それだけでは十分な対応に結びつくことができない場合が存在します。講座では人としての理解を進める方法について学生さんの臨床実習記録を基に対象者を理解する際の視点や枠組に沿って整理を行い深めていきます。	可
6	障がいを乗り越える心理	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 石田 圭二	けがや病気にかかった時、現在の医療では完治させることが困難で「障がい」が残存することが多くあります。リハビリテーションは「人間にふさわしい権利、資格の回復を回復させる」という意味を持ち、その一翼を担う作業療法の臨床場面では「障がい」を乗り越えようとする人の営みに出会うこととなります。講座では学生さんの臨床実習記録や患者手記を読み解くことで、その力強い心の動きの理解を深めていきます。	可
7	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう～脳卒中～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 林 浩嗣	脳卒中は、ある日、突然起こり、動けなくなったり、話せなくなったりする病気です。早く見つけて、病院に行けばなおります。おじいちゃん、おばあちゃんが、脳卒中になっているのかわかり、早くみつける方法、どうすればなおるか、どのようなリハビリをするかなどについて、わかりやすくお話しします。	可
8	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう～動脈硬化～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 林 浩嗣	動脈硬化は、何十年もかけて、身体の血管が硬くなる病気です。動脈硬化がすすむと、頭、心臓、足の血管がつまり、いのちにかかわります。早く見つけて、病院に行けばなおります。おじいちゃん、おばあちゃんが、動脈硬化になっているのかわかり、早くみつける方法、どうすればなおるかについて、わかりやすくお話しします。	可
9	おじいちゃん、おばあちゃんを救おう～認知症～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 林 浩嗣	認知症は、年をとると、だんだん、日にちやしたことを思い出せなくなる病気です。早く見つけて、病院に行けば、ひどくならなくて済みます。おじいちゃん、おばあちゃんが、認知症になっているのかわかり、早くみつける方法、どうすればなおるか、などについて、わかりやすくお話しします。	可
10	朝、おきられない、やるきがでない、元気がない、きみへ。食べ物をみなおしてみよう。	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 林 浩嗣	毎日食べているものによって、朝、おきられない、やるきがでない、元気がなくなるなんて、信じられますか？毎日食べているものを調べてみると、あるものを食べてないから、あるいは、食べすぎているから、おきられない、やるきがでない、元気がでないのかもしれないと気づきます。どんな食べ物でも、変われるか、わかりやすくお話しします。	可
11	高齢者の理解のために！～“からだ”と“こころ”の変化～	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授 堀 敦志	高齢化が進み「障がいを持った高齢者」が増えています。そのため、全て人が「高齢障がい者」の理解を深めることが必要です。そこで、高齢者の特徴を「からだ」だけでなく、「こころ」からも理解を深め、認知症等の対応についても学んでいきましょう。	可
12	高齢者の自動車運転	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 准教授 川端 香	高齢者による自動車運転事故に関する報道が大きく取り上げられます。高齢者の交通事故が多い要因の一つに、加齢に伴う注意力や判断力の低下が挙げられます。この講座では、自動車運転に必要な認知機能についてお話しします。また、簡単な注意力のテストを実施しますので、自分の注意力を知る機会になれば良いと考えております。	可
13	子ども達の発達と遊び～作業療法士の視点から～	未就学	保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師 養輪 千帆	子ども達は、日々繰り返す遊びを通して様々な機能を発達させ、自分の体を理解し環境とうまく関わることができるようになっていきます。子ども達の遊びと発達の関係、うまく遊べない子どもの背景とその支援について、作業療法士の視点でお話しします。	可
14	早く気づこう、心の不調	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師 下川 幸蔵	ストレスフルな現代社会において、誰しも1度は「こころの不調」を感じたことがあるはずですが、「こころの不調」は決して珍しくありません。そんな「こころの不調」に早く気づき、対処するコツをお話しします。	可
15	脳卒中を知る！メカニズムや症状、予防やリハビリテーション	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師 酒井 涼	脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）は脳の中で血管がつまったり破裂する病気です。半身まひや認知機能に障がいを起こすことが多く、十分な予防が必要です。脳卒中とはどんな病気なのか、そして予防するにはどんなことに気を付けると良いのか、脳卒中に備えていくための知識をわかりやすくお話しします。	可
16	人の生活を支える脳の仕組み～人体の精巧なメカニズムとリハビリテーション～	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 講師 酒井 涼	ひとの日常は脳の複雑な仕組みによって成り立っています。日常生活において脳はどんな機能を持ち、どんな役割を果たしているのか？そして脳に障がいがあるとどのような問題に直面するのか、実際のリハビリテーション場面や最先端の科学や医療と合わせて、わかりやすくご紹介いたします。本講座を受けて人体や科学、医療への関心を深めていきます。	可
17	利き手交換チャレンジ！～どうしたら実生活で使える手になる？～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 助教 佐々木 孝次	病気や怪我で利き手が使えなくなったらどうしますか？生活の中で普段になげなく使っている鉛筆や箸を利き手とは反対の手ですぐに使うのは難しいでしょう。今の内から練習すれば両利きにだってなれます。すぐに始められる利き手交換のテクニックをご紹介します。また、慣れない間に使える生活道具（自動具）もあります。一緒に利き手交換にチャレンジしてみましょう。	可
18	Ride on the SDGs！～障がい者福祉からSDGsの波に乗ろう！～	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 助教 中島 裕也	SDGsでは、目標3[保健]人々の健康的な生活の確保と福祉の促進、目標8[経済成長と雇用]全ての人の雇用の促進を促すといったことが掲げられています。障がい者福祉、障がい者雇用の視点から、SDGsに触れてみませんか？ディスカッション形式で、みなさんと一緒に障がい者福祉、障がい者雇用を考えることができると思います。SDGsの理解を深め、時代に乗り遅れないようにしましょう！	可
19	褥瘡（とこずれ）およびスキンケア（皮膚が破れたり、裂けてしまうこと）の予防から治療まで	小学校 中学校 高校	教職員 保護者	看護学科 教授 北川 敦子	褥瘡（とこずれ）やスキンケア（皮膚が破れたり、裂けてしまうこと）は特に高率に発生する高齢者にとって重要な問題です。この問題を予防する方法、治療する方法について原理を交えながらわかりやすくお話すの授業です。明日からのケアを学ぶ授業となります。対象に合わせた内容として分かりやすくお話しします。	可
20	生きることってなあに	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	看護学科 教授 北川 敦子	様々な人々は辛くなったとき、「死」をはじめ意識するようになります。「死」と「生」は表裏一体のものであり、それは「いのち」という言葉で表現されています。本講義では人間の根本にある「いのち」と「生きる」について考え、明日から前向きな人生を送るためのヒントを考える授業です。対象に合わせた内容として分かりやすくお話しします。	可
21	アドバンスド・スキンケア	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	看護学科 教授 北川 敦子	身体の外観を覆う最大の臓器、皮膚。この皮膚の整えが、身体的な影響だけではなく、心や社会生活に大きな影響をもたらします。本講義では、皮膚の解剖生理の基礎から、最新のスキんケア方法を実践を交えながら学びます（Zoomでの対応時は実践はできません）。スキんケアが、生活にどのような影響をもたらす、整えによって、何がかわるのか、について考えていきます。	可
22	折れない心を育てる	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	看護学科 教授 北川 敦子	苦しくて自分を認められず、自分や相手を傷つける。どうしたら、たとえ苦しくても人を傷つけず、自分や相手を大切にすることができるでしょうか。ただ単に、いのちの大切さを頭で理解するためのものではありません。私たち一人ひとりが、解決困難な苦しみを抱えたときに、具体的な行動として何ができるか、それぞれの立場で感じ、考える授業です。対象に合わせた内容として分かりやすくお話しします。	可
23	からだをサビつかせるAGEの正体～AGEsの基礎知識と老化を予防する食生活・スキんケア方法～	小学校 中学校 高校	学生 教職員 保護者	看護学科 教授 北川 敦子	近年注目されているAGE（終末糖化産物）はからだをサビつかせ老化を促進する物質だということが明らかになってきました。本講義ではAGEの基礎知識からサビつきを予防する食生活・スキんケアのお話をします。さらに希望者には無料でAGEを測定する機器を用いて、自分の老化度を測定します。	可（Zoomの場合はAGEの測定不可）
24	チャレンジ算数・数学	小学校 中学校 高校	①教職員 ②児童・生徒	看護学科 教授 趙 雪梅	探求活動や体験活動を通して、児童生徒の算数・数学への関心・意欲を高めることを目指します。活動はストーリーをもとに遊び的要素を取り入れます。活動に関わる操作・話し合いを通して、解決のための発想を生み出します。それらの発想に基づき、子どもが把握した知識・技能を活用して、数学学習とつながりができるようになることを期待しています。活動内容や時間に関して、教職員の方と事前に打ち合わせます。その後、担当教員とともに活動を展開します。	不可
25	こころと体 いきいき 元気	こども園 小学校 中学校	幼児 児童生徒 教職員	看護学科 講師 五十嵐 利恵	いきいき元気で過ごしているかな？こころと体の健康づくりのため、自分の生活を振り返り、今後の元気アップのため、できることを確認しましょう。	不可

前期(2024年4月～9月)

	講義テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	Zoom対応
26	人が食べるということはどういうことか ～美味しい、不味いはなぜ決まる？～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 准教授 保屋野 健悟	私達は、生命を維持するために様々なものを口から摂取します。このように必要な栄養を摂取することは、私達が食べる理由の一つです。しかし、私達が食べる理由はそれだけではなく、「楽しみ」というものが含まれてくると思います。人が食べる時に感じる美味しさや楽しさなどから、人が「食べる」ということがどのようなことなのかをお話します。	可
27	聞き手に伝わりやすい話し方	未就学 小学校 中学校 高校	未就学児 学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 西尾 桂子	新型コロナウイルス感染症でのマスク生活により、口唇や口唇周囲、舌などの口の動きや状態への意識が低下したとの報告があります。お口の動きが少ないと顔の表情のメリハリが少なくなるだけでなく、発音もあいまいになり、聞き手に話し言葉がうまく伝わらないことも生じます。正しい日本語の発音を理解し、お口を動かすことの大切さをお話します。	可
28	身近な感染予防；できていますか？ 正しい手指衛生～感染防止の基本は手洗いから～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 吉江 由加里	感染症は、ひとたび発生して拡大すれば個人の健康のみならず社会全体に深刻な影響を及ぼすおそれがあります。身近な感染症や、予防対策としての 手洗いの効果、マスクの効果等についてお話します。	可
29	チームで精神医療を行うということ	高校	学生	看護学科 教授 小俣 直人	精神障がいをもつ患者さんは、疾患ごとの様々な症状に加えて、生活上の支障や今後の回復など色々なことに悩んでいます。また、家族との関わりや経済的なことなど、非常に多様な問題を抱えています。本講座では、これらを解決していくためには、異なる職種の医療スタッフが連携・協働していくことが不可欠となっていること、更には、家族や患者本人も治療に加わっているという意識を持つことが必要であることを解説します。	可
30	更年期を健やかに	中学校 高校	保護者 教職員	看護学科 教授 小笹 幸子	これから更年期を迎える保護者(子どもの)、教職員の方を対象に、人生の折り返し地点ともいえる更年期の身・心・社会面の変化の特徴を学びます。老化の予防とQOLの維持・向上に向けての運動、食事、気持ち、身辺の対策、健康の見直しについて、実際に即して共に考えてゆきたいと思います。	可
31	認知高齢者が生きる世界を理解する 認知症を患う高齢者の立ち場になってみよう	中学校 高校	生徒・保護者・教職員	看護学科 教授 寺島 喜代子	平均寿命が延伸し核家族化が進む状況で、認知症高齢者が住み慣れた地域で生き続けるためには、若年層から認知症の正しい知識を学び高齢者やその家族に支援の手を差し伸べることは必須です。そのため認知症高齢者が日常生活を送るうえで、どのような不都合を体験しているのかを学んでいきたいと思います。	可
32	杉田玄白になって体の「かたちとはたらき」について考えよう ～筋・骨格編～	小学校・ 中学校・ 高校	学生・保護者・教職員	看護学科 教授 猪口 徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまとめ、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白となって普段触れることのない体の内部について模型を使って調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒に考えてみましょう。今回は筋・骨格編です。	不可
33	血管を強く健やかに保つ工夫	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 講師 蔵屋敷美紀	高血圧や脳梗塞、心臓病にならないために、年齢の若いうちから、食生活や運動など注意することがたくさんあります。どのような事に注意すればいいのか、年代に合わせて説明します。	可
34	プレコンセプションケアってなに？ ～思春期からの健康なからだづくり～	中学校 高校	学生	看護学科 助教 北川 加奈子	「妊娠してからではなく、妊娠する前から健康なからだづくり」と始まったのがプレコンセプションケアです。しかし、妊娠や性別にかかわらず「より健康に生きるために必要な知識と行動」という幅広い視点で捉えられるようになりました。今、そして将来の健康について一緒に考えていきましょう。	可

後期(2024年4月～2025年3月)

	講義テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	Zoom対応
35	聞こえない・聞こえにくいってどんなこと？ ～知っているようで知らない聴覚障がい～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 岡本 一宏	赤ちゃんから高齢者まで、軽度難聴から重度難聴まで、聴覚障がいによる影響や支援の方法について、医療、福祉、教育などの様々な視点からお話します。手話や指文字、読話などのコミュニケーション手段や補聴器の取り扱いなども体験できます。	可
36	ストレスって何?	高校	学生	看護学科 教授 供田 文宏	ストレスとは何なのか、ストレスはどのように体に影響するのか、ストレスの良い面と悪い面についてお話します。また、ストレスの対処法や最近の新しい治療の動向についてもわかりやすく解説します。	可
37	腎臓病って何?	高校	学生	看護学科 教授 供田 文宏	体で腎臓は何をしているのか、腎臓が病気になるると体はどうなるのか。また、腎臓病の予防法や最近の新しい治療の動向についてもわかりやすく解説します。	可
38	子どもに起こりやすい事故の予防と手当	未就学	保育士 教職員	看護学科 教授 吉田 美幸	子どもの死亡原因では、「不慮の事故」が上位を占めており、子どもは一生の中で最も事故を起こしやすい年齢層です。子どもの健康を守るためには、事故を予防することが重要です。そこで、子どもの発達の特徴、それにともない起こりやすい事故とその予防・手当についてお話します。	可
39	命の大切さとつながりを学ぶ	小学校 中学校 高校	学生	看護学科 教授 小笹 幸子	中学生・高校生の方を対象に、妊娠・出産の仕組み、妊孕性(妊娠しやすさ)の変化や不妊治療、性感染症、また、命の誕生の喜びについて、モデル人形・DVD・PP等を用いて学びます。そして、思春期からの自己の健康管理の大切さといのちの連続性について考えていただく内容です。	可
40	杉田玄白になって体の「かたちとはたらき」について考えよう ～あたま・脳編～	小学校・ 中学校・ 高校	学生・保護者・教職員	看護学科 教授 猪口 徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまとめ、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白となって普段触れることのない体の内部について模型を使って調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒に考えてみましょう。今回はあたま・脳編です。	不可
41	高齢者はなぜ転倒しやすいのでしょうか ～転ばぬ先の知恵～	中学校 高校	学生 教職員 保護者	看護学科 准教授 油野 規代	高齢者の身体的特徴を理解した上で、転倒しやすい環境、転倒のリスクと転倒が及ぼす影響をお話します。またとっさの時に一歩が出る体づくりを演習を通してやってみましょう。	原則・不可
42	介護の苦勞を分かち合おう	中学校 高校	教職員 保護者	看護学科 准教授 油野 規代	少子高齢社会において、自分や家族が介護が必要になったとき、どうすればいいのか不安は多いと思います。入院から退院、そして自宅で生活するために、家族だけで介護を背負い込む必要はありません。どのように社会資源を活用していけばいいのか、一連の流れを事例を通し話します。	可
43	学校生活が楽しくなる睡眠の話	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 講師 藤本 ひとみ	自分の睡眠を見直してみると、学校生活が今より少し楽しくなるかもしれません。小学生(中学生、高校生など)に必要な睡眠時間、寝ている間に起こる体の変化、寝る前にはいけないこと、「ぐっすり眠る」、「すっきり起きる」方法などについてお話します。	可
44	見逃さないで！こども虐待	未就学 小学校 中学校	教職員	看護学科 講師 青井 利哉	子どもの虐待予防、発見、対応、再発防止のために何ができるのか、私が経験してきた多くの例をもとに、具体的に解説します。さらに、児童虐待が子どもの発達にどのような影響を与えるのかについても考えます。	可
45	ユーモアとケア	中学生 高校生	学生	看護学科 助教 近藤 やよい	ユーモアは、一般的に対人関係のコミュニケーションスキルとして知られています。ユーモアのある人ってどういう人でしょうか？おもしろいことを言う人、笑わせてくれる人というイメージが強いのではないのでしょうか。ユーモアも種類がありますが、ここでは、笑いやユーモアが医療の現場でどのように活用されているのかをお話します。(笑いを伴う体操も説明します)	可
46	生活行動からからだをみて自分の生活習慣を振り返ってみよう	小学校 中学校	学生 保護者 教職員	看護学科 助教 奥田 豊子	生きていることとはどういうことか、食べて、息をして、トイレに行くことは生きていることとどのように関連しているのか。これらを知ることで、自分の日々の生活を振り返り、より良い生活習慣を整えることに繋がります。対象年齢に合わせてお話します。	可

キャリア講座通年(2024年4月～2025年3月)

	リハビリ・看護師のお仕事を知ろう!	小学校 中学校 高校	学生 保護者	医療専門職は、医療に関係する専門的な仕事を人の事を言います。医療専門職が携わるどの仕事も、人に寄り添い、人の人生に係る仕事で、人の命に係ることが多く、人を助けたい、救いたいという思いを持つ人が目指す『やりがい』のある仕事です。本講座では、医療専門職の中でもリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)・看護師が「どういう職種なのか」、「それぞれの職種の魅力とは」について詳しくお話します。本講座を受講することで、これからの進路を考える一助になるはずです。	可
--	-------------------	------------------	-----------	--	---